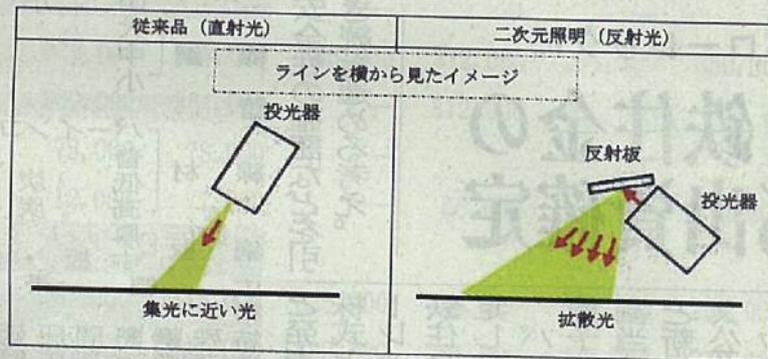


鋼板などの表面検査装置用 「二次元照明」を製品化 傷検出の精度が向上

ヒューテック
・オリジン

コイルセンター・鋼板メーカー向け金属表面傷検査装置などを製造・販売するヒューテック・オリジン（本社・香川県高松市）は、



傷検出の精度を向上できる二次元照明を開発・製品化した。「二次元照明」とは、従来の金属表面検査装置の投光器に反射板を取り付けたもので、投

も二次元照明に変更できる。また、検出精度の向上だけでなく、従来の約半分の省スペース化が可能となる。このほか、シビアな調整が必要であった設置

光器からの直射光ではなく、一度反射板で反射した光を検材に照射する。投光する照明が拡散光となるため、従来に比べ光を照らす範囲が大きくなる（光軸が太くなる）。これにより検出精度を上げられるようになった。すでに設置している検査装置

また、レベラー・スリッターなど加工ライン上で製品がバタついた（上下した）場合も光軸が太くなった効果で検出精度の低下を軽減できる。

調整も、従来品に比べ簡単にできるため、調整時間を大幅に短縮できるなどのメリットもある。従来は、撮影ラインが光軸の中心を外れると、光量が大きく落ち込み検出精度が低下していた。二次元照明にすれば、光軸が太くなるため、撮影ラインが光軸の中心を多少ずれた場合でも、検出精度への影響を抑えることができる。